

聖句
 他を利用することは如何に重大なりとも、己を益することを廃むべからず、己の自分を識りて恒に本分に専心なれ。
 『法句経』 荻原雲来訳

真生

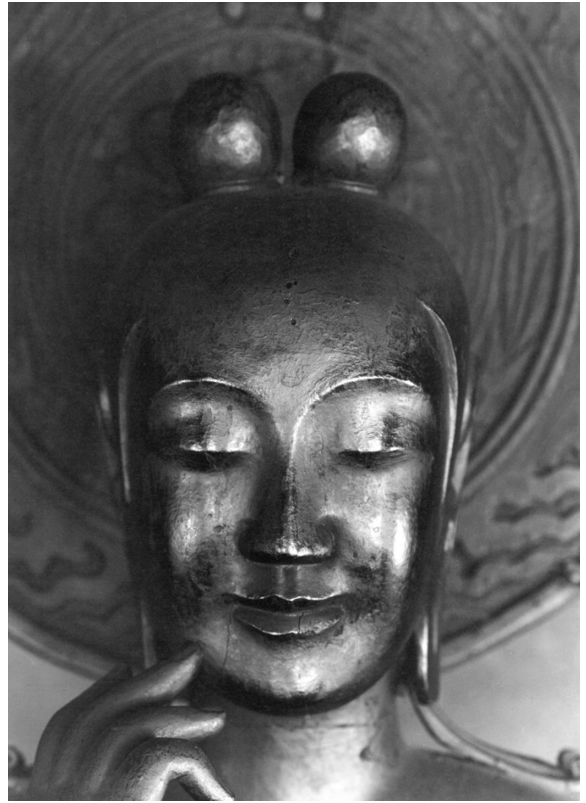
第80巻483号

<http://canchiin.net>

1・4・7・10月15日発行
 【発行所】
 真生同盟本部
 〒105-0011
 東京都港区芝公園
 2-2-13 観智院
 【振替】
 00160-6-80674
 【電話】
 03(3431)1450
 【Email】
 shinsei@canchiin.net
 【編集兼発行人】
 土屋正道
 会費 年額 2,000円
 一部 100円

世界中でナムアマミダブツと称えましょう!! C. N. I. 正道
 Chanting Namuamidabutsu
 Internationally
 英語の頭文字をとってC. N. I. と名付けました「世界同時念仏」。16年前から開催してきました「24時間不断念仏会」に参加して下さった世界中の方々のご賛同を得て、新しい別時念仏会ネットワーキングができました。

昨年11月にハワイ開教区主催(21日 幹事・石川総監)、1月にインド・ネパール寺院主催(29日 幹事・ブツダガヤ仏心寺清水上人、カトマンズ平等寺シエレスタ光明上人)、3月に南米開教区主催(7日 幹事・大江田開教使)が60分の別時念仏会を開催してくださり、オンライン(ZOOM使



伝如意輪観音 奈良・中宮寺

用)にて世界の方々に参加していただきました。

今回は7月にヨーロッパ仏教センター主催の会(日本時間17日23時予定 幹事・ドイツ ビュトゲン光然開教師補)がごいます。

ZOOMミーティング

ID 946 1643 6069
 パスコード 255748



5月東京24時間不断念仏会(8日、9日増上寺主会場)、9月京都24時間不断念仏会(25日、26日予定 清浄華院主会場)と合わせて、オンラインによる2ヶ月に一遍の世界同時別時念仏会を展開してまいります。

日頃おろそかになりがちな念仏行です。法然上人は、日時と場所を決めて、ひたすら念仏を称える別時念仏をお勧めになっいらっしゃいます。

江戸時代の高僧、忍激上人(鹿

『宗教の本質』

(四) (昭和十年九月発行)

土屋 観道 上人 (眞生同盟初代主幹)

(承前)

ところで、以上の人と家を国についで、各々その中に一つの独尊、統撰、帰趣の三徳を具有する宗なるもの、あることは明らかになりましたが、しかしこれらの独尊は必ずしも絶対唯一のものではないようであります。もつともこの私は自分の身心に対してはある点までは独尊であり、これを統撰し、帰趣することはできません。けれども、この宇宙の力と法則と恵みとに背いては何人もどうすることも出来ないのであります。即ち我も自分の体に対してはこの位は(両手抜げて)自由たることが出来る、けれどもそれ以上なお自由たることは出来ません。与えられた範囲、独尊たることは出来るが、それには必ず限界があります。限界以上どうすることもできないの

働いてある事は到る所に見る事が出来るのであります。

しかもこの力は一方には無限の法則となつて、万有を統撰し、一方には無限の恵みなつて、万有を帰趣せしめている。一切の万有はこの宇宙の力と法則と恵みなくしては何物も存在することが出来ないのであります。一例を挙げれば太陽なくしてこの地球が存在することは出来ない。しかもその太陽もまたこの宇宙の力を離れては存在が出来ない。ましてその中の吾々は人類虫けらに至るまで、この宇宙の力と法則と恵みを離れて存在することは、絶対に出来ないのであります。

では、生きて行くものは無いのであります。この天地間には絶対無限の力が働いている。またあらゆる時間、空間に亘つて、この大宇宙には実に無限の法則と恵みとが働いているのであります。私達は力そのものを見る事は出来ない。しかしこの力が天地間に

ことが出来ないのあります。ここに於いて私どもはこれを宇宙の独尊とし、所謂眞実の宗教とするのであります。(続)

価値の大小

中野 善英 上人

人間の一生も、自分の信念を立脚地としてコンパスで円を描いた共円の大きさ―仕事の全量がその人の価値です。コンパスの開きは大きくても、支点のきまらぬ人は何度円を描きかけても円にならず。一生まとまらぬ。無茶苦茶だ。



称名の工夫

―修行としての念仏―(一)

(『浄土宗学研究 昭和五十三年度第十一号』より)

土屋 光道 上人(眞生同盟二代主幹)

一、はしがき

私に今回与えられた課題は、念仏実践の問題、特に「日課誓約」と「数量念仏」であります。この

二つは、古来わが宗において共に口称の遍数を数え、数をより多く

称えることを喜び、その実践を奨めてきたことに由来します。口称

念仏は色々の教的内容を含み、また口称のもたらす数々の利益が

説かれるが、何故により多き遍数をよしとするのか、それは口称多

念のもたらす効果を単に呪術や祈祷の上に限らず、特に当事者の心

理や人格性に及ぼす効果を重視したからで、いわゆる称名口称の持

つ修行的機能を無視することは出来ない。

そこで、課題「日課誓約」「数量念仏」を表題の如く「修行とし

ての念仏」という側面から考察し、

特に今後の実践的問題として、新しい口称の工夫について提言してみたいと思う。

二、行門為本

古来、わが宗において、信行相

即といい、信と行とは車の両輪にも譬えられ、宗学にも安心起行相

即の教理が定説されている。元祖法然上人「本願に乗ずるには信心

の深きによるべし」、「念仏には必ず三心を具足すべし」ほか、信の

必須を随処に述べ、信と行との相応を説いてられる。

まさに、宗教思想、教理教学の上においては、信と行とは、どちらが先とか主とか言うことなく、

相即、相応すべき関係(1)であろう。しかしながら、この議論は、法

然上人御在世の頃はもとより、滅後の遺弟の間にも繰返し行われた問題であった。

法然上人は、如来の大悲本願力に立てば、一切衆生の罪の軽重、機の浅深を問わず、本願を信じた念

仏は、数の多少を論ぜず悉く往生を得ることは間違いないという健

信を持たれた。(2)しかし、疑いや

すく、懈怠に傾く凡夫の心理の現実に立てば

「一念十念むなしからずと信じて、無間に修すべし。一念なをむまる、

いかにいはんや多念をや」(3)として、多念を勧められ、自らも、

日課六万遍、晩年さらに一万を加えられた。

「詮ずるところ心をして相統せしめんがため也。かならずしも数を沙汰するを要とすにあらず。

た、常念のためなり。数をさだめざるは懈怠の因縁なるゆへに、数

遍をす、むる也」(4)と仰せられ、更に日課の上に重ね

て別時念仏を自ら励まれ、人にも

勧められた。(5)

その門下には幾多の流派が生まれたが、大きく二つの流れを分つ

ことが出来る。すなわち幸西・証空・親鸞の流れと、聖光・隆寛・

長西のそれである。その二流は、安心派對起行派、他力対自力、一

念対多念義という形で様々の論争を生じた。この対立は、余程注意

深く比較検討しなければならぬが、後世、特に親鸞の浄土真宗に

おいて数遍を課する念仏を自力の修行として排し、一念の信を強調

する信門為本に対し、浄土宗特に鎮西派にあつては、日課多念、数

遍相統の努力精進の行門為本こそ元祖の主意とする。

「先づ名号を称えよ、名号の徳として妄念自ら止み、願心自ら生ずる也」(6)

そこには、信が行を導くというより、多念相統の実践行の過程から

信が深まって行くという経験的事実が重視されていると言えよう。

(続)

行事報告

第二十九回 一千礼拝の会 完全リモート開催

二〇二一年 三月六日(土)

十時～二十時三十分

二月六日(土)に予定していた一千礼拝の会は新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発令に伴い外出自粛の要請が出されたことで、皆様が観智院に集まれるように一カ月延期して開催を考慮しておりましたが、その後緊急事態宣言の延長が発表されたことを受け、本年はZOOMを使った完全リモートでの開催となりました。

- (註)
- (1) 勅伝二一常に仰せられける御詞
- (2) 念仏往生要義抄
- (3) 勅伝二一 小消息
- (4) 十二箇条問答
- 他に、諸問答
- 百四十五箇条問答
- (5) 七箇条起請文
- (6) 決答授手印疑問抄



ZOOMで繋ぐ礼拝行

当日は観智院と姉妹寺院の多聞院を配信の中心会場にして、長野県の法学寺様、玄向寺様、専念寺様からも配信をしていただき、各寺院が礼拝の句頭を担当、参加者はZOOMで中継される担当寺院の句頭に合わせて礼拝するという形で一千礼拝を厳修いたしました。

当日のスケジュール

九時五〇分～十時一五分

オリエンテーション 念仏

観智院

一〇時一五分～十一時三五分

一〇〇礼 観智院

一〇〇礼 法学寺

十一時三五分～十二時三五分

食事 休憩

十二時三五分～十三時五五分

一〇〇礼 多聞院

一〇〇礼 法学寺

十四時三〇分～十五時五〇分

一〇〇礼 専念寺

一〇〇礼 多聞院

十六時一〇分～十七時四〇分

一〇〇礼 専念寺

一〇〇礼 多聞院

十七時四〇分～十八時四〇分

食事 休憩

十八時四〇分～二十時〇〇分

一〇〇礼 玄向寺

一〇〇礼 観智院

二十時〇〇分～二十時三〇分

結願法要 観智院



一千礼拝成満 結願法要

第三回 世界同時念仏会開催

Chanting Namu-Amida-Butsu
Internationally (C.N.I.)

主催：浄土宗南米開教区

幹事：クリチバ日伯寺

二〇二一年

ブラジル時間三月六日十八時

日本時間三月七日六時

昨年十一月に第一回世界同時念
仏会を開催し、隔月で世界各地か
ら中継を頂き、今回で三回目とな
ります。世界各地から参加者を募
りZOOMにアクセスして念仏を
一緒にお称えいたしました。

今回は浄土宗南米開教区が主催、
クリチバ日伯寺様の大江田晃義上
人が幹事となり私たちをご指導し
てくださいました。

南米開教区の各ご寺院のご住職
や僧侶の方々、檀信徒の皆様がご
参加いただき、盛況となりました。

次回は四回目の開催で、浄土宗
ヨーロッパ仏教センターからの中
継が中心となります。

世界同時念仏会の輪が今後も広
がっていくように務めてまいります。



浄土宗南米開教区 クリチバ日伯寺の由来



ブラジル クリチバ日伯寺 大江田晃義上人

春彼岸会

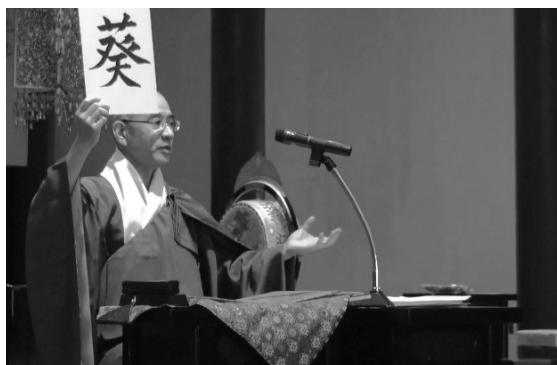
二〇二一年三月二〇日(土)

二〇二一年で東日本大震災より
十年を迎えました。

「眞生光明阿弥陀仏」の御前に
て念仏し、檀信徒先祖代々の仏果
増進を願うとともに、物故者追善
増長菩提、被災地復興祈願の法要
を厳修いたしました。

当日の午前中、土屋正道主幹は
増上寺での春彼岸会の法話を依頼
されており、参列される方々には
先にそちらでの法話をお聞きに
なつた後、観智院へお越しいただ
きました。

また昨年同様に新型コロナウイルス
ルスが流行し、緊急事態宣言下と
いうこともあり、檀信徒の皆様にお
かれましては、ご都合に合わせて
対面及びリモートでの参列をお
願いたしました。



増上寺春彼岸会法話



春彼岸会法要

午前十時

法話 土屋正道

増上寺大殿

午後十二時三十分

受付 観智院

午後十三時

別時念仏 観智院本堂

午後十三時三十分

彼岸法要 観智院本堂

導師 土屋正道

表彰式 小島清一氏 表彰

参加者(敬称略・対面及リモート)

東京 土屋正道

谷口英夫

萩原雄吉

久米晴彦

林武則

上田密記子

盛克史

山本薫

吉田晶子

大橋英和

馬場賢

埼玉 埼玉

千葉 千葉

馬場友子

武井千鶴子

小島清一

土屋由恵

土屋遥

土屋法道

中村立道

諸澤正俊

田中典幸

服部道子

江草喜美子

蘇田三千穂

酒井正空

中野善英上人報恩

比叡山飯室谷松禅院念仏会

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十一日(日)十八時～二十時

四月十二日(月)

四月十二日(月)十時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十時三十分 法話(酒井正空)

四月十二日(月)十一時 休憩

四月十二日(月)十一時一十分 大念仏(酒井正空)

四月十二日(月)十一時三十分 結願法要(諸澤正俊)

四月十二日(月)十二時 下山動画(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)

四月十二日(月)十二時 大念仏(録画)



小島清一氏 表彰

開催期間中、土屋正道主幹は松禅院にて一人で報恩の念仏会を厳修、インターネット環境が整わず現地からの配信は叶いませんでした。

当日のスケジュール

四月十一日(日)

十八時 入山動画(録画)

十八時二〇分 開白法要(録画)

十九時 休憩

十九時一〇分 法話(諸澤正俊)

十九時三〇分 大念仏(酒井正空)

一体となり、天地の大生命活動と貫通する、身心の大調和を来す口称念仏法を大成した。

これは比叡山、飯室谷道場では、昭和二十年頃から発表して来たが、今後は各地の道場に於いても、これを「標準念仏」として唱道し、

「申す念仏」への大革命とし、宗教界への一大示唆たらしめんとす。(中野善英『一味』四三四号より 昭和四十一年四月十五日)



観智院本堂 法話



松禅院仏塔前 大念仏



松禅院念仏堂 開白法要

第十六回 東京二十四時間不断念仏会 完全リモート開催

本年の東京二十四時間不断念仏会は昨年同様に新型コロナウイルスの感染拡大の影響で緊急事態宣言が発令されたことに伴い、一堂に会することを断念し、大本山増上寺様の円光大師堂を中継配信の拠点として、当日は事務局スタッフの限られた数名のみ現地入り、これまで通り世界各地からの中継はもちろんのこと、参加者・スタッフがオンラインで繋ぐ完全リモート開催でしたが、お陰さまで無事

成満いたしました。

今回も配信に賛同して下さった方が多くいらつしやり、世界各地四〇カ所以上もの中継地となりました。

後援を賜りました大本山増上寺様、浄土宗東京教区教化団様、また協賛のフリースタイルな僧侶たち様、宿坊研究会様、丸の内はんちや会様、東京四谷坊主バー様、誠にありがとうございます。そして快く中継を引き受けて下さった総本山知恩院様、大本山金戒光明寺様、大本山百萬遍知恩寺様、大本山清浄華院様、さらにZoomからオンライン参加して下さった方々、YouTubeから配信をご覧になりながら念仏して下さった方々、また毎年の中継配信をして下さる念仏道友の方々や新しく中継にご賛同して下さった道友の皆様、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。南無阿弥陀仏



結願法要後 挨拶

念仏中継地

① Aメイン会場

(増上寺・観智院・多聞院)

B スタッフ各所

② A B有縁中継各地

五月八日(土)

十三時～十四時

① A増上寺 円光大師堂(東京)

二十四時間不断念仏会事務局

② A ラハイナ浄土院

(マウイ島 ハワイ)

原 照上人

(ラハイナ浄土院住職)

十三時三〇分～十四時三〇分

① 大本山百萬遍知恩寺(京都)

知恩寺職員



各地からの配信1

十四時～十五時

① A 増上寺 円光大師堂 (東京)

二十四時間不断念仏会事務局

② ハワイ浄土別院

(オアフ島 ハワイ)

石川広宣上人

(開教総監・コロシア浄土院住職)

十五時～十六時

① A 多聞院 (東京)

二十四時間不断念仏会事務局

B 専念寺 (上田市 長野)

福田哲也上人 (専念寺僧侶)

② A 清浄華院 大方丈 (京都)

清浄華院職員

B 菩提学苑 (台湾)

開明法師



各地からの配信2

B 専念寺 (上田市 長野)

福田哲也上人 (専念寺僧侶)

② 法城寺 (碧南市 愛知)

石川乘願上人 (法城寺住職)

十九時～二十時

① A 武蔵村山市 (東京)

二十四時間不断念仏会事務局

B 五百羅漢寺 (目黒区 東京)

無垢品宗生上人 (玄忠寺僧侶)

② 阿弥陀寺

(ブリスベン オーストラリア)

ウイルソン哲雄上人

② カトマンズ (ネパール)

光明シエレスト氏

ミンデイレシエレスト氏

十七時～十八時

① A 観智院 (東京)

二十四時間不断念仏会事務局

B 蓮乗寺 (京都市)

登田正樹上人 (蓮乗寺住職)

② A 西方寺 (仙台市 宮城)

大江田紘義上人 (西方寺住職)

十八時～十九時

① A 多聞院 (東京)

二十四時間不断念仏会事務局

② 安養寺 (神戸市 兵庫)

清水良将上人 (安養寺僧侶)

二十二時～二十三時

① A 武蔵村山市 (東京)

二十四時間不断念仏会事務局

② 来迎寺 (宇治市、京都)

向井保成上人 (来迎寺住職)

二十二時～〇時

① 多聞院 (港区 東京)

二十四時間不断念仏会事務局

② A ヨーロッパ仏教センター

(パリ フランス)

高僧光隆上人

(ヨーロッパ仏教センター住職)



各地からの配信3



各地からの配信4

- Bザンクトアウグスティン
(ドイツ)
フランク・光然・ピュトゲン氏
- 五月九日(日)
〇時～一時
- ①観智院(東京)
二十四時間不断念仏会事務局
- ②セントルイス(アメリカ)
ステイーブンビクター氏
一時～二時
- ①所沢市(埼玉)
二十四時間不断念仏会事務局
- ②A玄向寺(松本市 長野)
荻須真尚上人(玄向寺副住職)
Bサンアントニオ(アメリカ)
エリック・コーベン氏



各地からの配信5

- 二時～三時
- ①多聞院(東京)
二十四時間不断念仏会事務局
- ②法城寺(碧南市 愛知)
石川乗願上人(法城寺住職)
三時～四時
- ①A武蔵村山市(東京)
二十四時間不断念仏会事務局
B隆佐庵(滋賀)
松田道観上人(清浄華院僧侶)
- ②A法城寺(碧南市 愛知)
石川乗願上人(法城寺住職)
四時～五時
- ①多聞院(東京)
二十四時間不断念仏会事務局



各地からの配信6

- ②A法雲寺(豊田市 愛知)
水谷雅豊氏+数名
(法雲寺所属僧侶)
Bハワイ浄土別院
(オアフ島 ハワイ)
石川広宣上人
(コロア浄土院住職)
五時～六時
- ①所沢市(埼玉)
二十四時間不断念仏会事務局
- ②イビウーナ日伯寺(ブラジル)
櫻井聡祐上人
(イビウーナ日伯寺住職)
六時～七時
- ①観智院(東京)
二十四時間不断念仏会事務局



各地からの配信8



各地からの配信7

- ②Aクリチバ日伯寺(ブラジル)
大江田晃義上人
(クリチバ日伯寺住職)
Bマツキニ
(テキサス アメリカ)
テイック・タム・ティエン師

七時～八時

①A多聞院(東京)

二十四時間不断念仏会事務局

B蓮乗寺(京都市)

登田正樹上人(蓮乗寺住職)

②A月影寺(武蔵野市 東京)

藤井正史上人(月影寺住職)

B高德院鎌倉大仏

(鎌倉市 神奈川)

二十四時間不断念仏会事務局

八時～九時

①所沢市(埼玉)

二十四時間不断念仏会事務局

②長昌寺(大分)

今井英之上人(長昌寺住職)

九時～十時

①A多聞院(東京)

二十四時間不断念仏会事務局

B大念寺(乙訓郡 京都)

館宏道上人(大念寺住職)

②大本山金戒光明寺(京都)

金戒光明寺職員

十時～十一時

①A増上寺 円光大師堂(東京)

二十四時間不断念仏会事務局

B専念寺(上田市 長野)

福田哲也上人(専念寺僧侶)

②総本山知恩院(京都市)

知恩院職員

十一時～十二時

①A増上寺 円光大師堂(東京)

二十四時間不断念仏会事務局

B弘誓寺(京都市)

粟飯原上人(弘誓寺住職)

木津恵雄上人(國生寺住職)

②光明寺(枚方市 大阪)

羽田篤法上人(光明寺副住職)

十二時～十三時

①増上寺 円光大師堂(東京)

二十四時間不断念仏会事務局



各地からの配信8

眞生芳志感謝

眞生芳志を賜り誠にありがとうございます。至心に感謝申し上げます。ますと共に今後もお支えのほどよろしくお願いたします。

(482号以降令和3年6月1日まで)

◆金一封

飯田実雄 台下

◆金三万円

秋田 田村昭元・ハワイ 原源照

愛知 萬福寺

◆金二万円

東京 小林正道・山口 藤本浄彦

長野 荻須眞教・神奈川 高橋隆雄

宮城 東海林良雲

◆金二万円

静岡 久保田修司・滋賀 柳澤禮子

広島 野間堯・東京 佐々木励綱

千葉 松平寛隆・静岡 川村一紀

東京 齋藤晃道・東京 奥村京子

兵庫 満仲諦雅・宮城 奥山清康

群馬 稲村博道・静岡 三好承治

茨城 大島信明・東京 矢花真隆

兵庫 中川正興・東京 稲岡春瑛

京都 岸名優里哉・埼玉 町田唯真

東京 小野静雄・東京 岡本圭示

青森 長尾隆道・岡山 工藤純裕

神奈川 吉川瑞浩・滋賀 井野康雄

青森 石田孝信・三重 山中教龍

福岡 野瀬明隆・静岡 掬池晃雄

東京 福西賢雄・山形 井澤隆明

千葉 阿地敏子・東京 多賀谷浄繁

福岡 八尋聖史・東京 戸松秀明

千葉 関野紘一・福岡 安永宏史

青森 鈴木信然・茨城 田中勝道

青森 松山義幸・山梨 小関恒夫

東京 渡邊眞宏・山梨 秋山秀道

東京 石川隆信・東京 川名観恵

滋賀 溪 恒雄・東京 渡辺俊雄

青森 長尾拓應・岐阜 早川静子

新潟 与口勝郎・千葉 北島通子

福岡 吉末全隆・埼玉 川端清光

静岡 魚尾孝久・宮城 佐藤光純

東京 阿川正貫・東京 鈴木昭孝

北海道 高橋宗憲・岡山 嶋谷秀洋

埼玉 齐藤義宏・静岡 友田達祐

福岡 永江憲昭・大阪 森島米史郎

埼玉 糸原恒久・神奈川 局 洋次郎

新潟 原久子

◆金五千円

千葉鈴木幹則・千葉服部道子
千葉江草喜美子・群馬山岡良子
東京佐藤利恵子・滋賀中川英子
東京原口弘之・東京黒田敏広
神奈川林春美・東京溝口良弘
東京荒木昌道・千葉野島保夫
東京林真也・滋賀三輪晃照

東京佐野泰士・福岡國武秀隆
千葉大澤陽二・東京大橋英和
富山竹内久子・東京野田弘子
長野小澤秀真・長野内田久子
東京福原秀美・茨城小村正孝
大分丹羽一誠・東京上塚芳郎
千葉巻田和男・東京太田いずみ

神奈川城所和代・東京小杉萬希
東京太田裕子・千葉川村紀子
愛知村上真瑞・愛知水谷浩志
青森三浦幸子・静岡小沢文子
東京石井珠子・東京野田弘子
東京廣田眞一・東京春山啓子
神奈川石川寿美子・東京林武則
岩手下弘明・東京大西健二
青森花田俊岳 (敬称略)

◆金五千円

福島矢吹桂一・秋田加澤昌人 (敬称略)

念仏道友の皆さま 各位

眞生同盟会費

未納の方へお願い
日頃、眞生同盟の活動にご理解、ご支援をいただきまことにありがとうございます。恐れ入りますが2021年度眞生同盟会費を未納の方は9月末までお願い申し上げます。前号にて郵便振替用紙を同封させていただきました。すでにご芳志をお寄せ賜った方々には、失礼と存じますがご容赦くださいませ。

松禅院念仏堂修繕事業
浄財勸募第二回報告

480号において、「松禅院念仏堂修繕事業浄財勸募のお願い」をしましたところ、多くの方々がご浄財を寄進してくださいました。心より感謝申し上げます。(482号以降令和3年5月31日まで)

◆金二万円

兵庫三枝樹隆善

◆金二万円

長野北川正明・東京定泉寺

◆金七千円

神奈川大橋俊史

大正11年(1921年)から現在まで連続と続けております『眞生』の発行は、皆様のご芳志のお支えあつてのことと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

会費 年間 2000円(一口)

※会費納入は何口でも可能です

千葉成富世枝子・東京谷口英夫
福岡辻村弘道・茨城鷲森了英
長野平林つやこ・東京鈴木一真
岡山仁保健爾・茨城長谷川君子
三重伊藤照光・秋田加澤昌人
埼玉蘇田三千穂

東京梶原弘行・埼玉和氣昭祐
東京加藤秀美・東京萩原雄吉
東京藤澤裕子・東京小島清一
東京定泉寺・神奈川下口直久
埼玉柵川隆・栃木本多元照
埼玉今井規雄・長野櫻井好一
神奈川川野誠・埼玉北村栄一
千葉小熊久一・東京佐藤冬樹
東京岩崎朋和・京都長澤博子
埼玉林光雄・千葉桜井昌彦

◆金四千元

東京加藤瞭・秀美
岡山漆間宣隆・典子

愛知楢山和子・神奈川宮澤正順
群馬佐々木大介・東京荒井寿雄
鹿児島松元紀子・福岡坂本一紀

滋賀永田重樹・愛媛高橋宏文

静岡高田幸男・滋賀久米秀慶

山口桑原一真・千葉矢崎勝彦

鹿児島松元紀子・福岡坂本一紀

◆金三千円

神奈川大橋俊史・東京平野能子
東京上田密記子・東京川原浄信

京都羽田龍也・埼玉小島美江子
埼玉織戸恵子・埼玉伊藤ゆみ子

神奈川斎藤啓太郎

佐賀田中良道・千葉為谷豊子